

## 競輪補助事業

### 平成 24 年度（復興支援）被災者に対する生活支援活動

日本子どもの虐待防止民間ネットワークは 2012 年度に競輪補助事業として「平成 24 年の（復興支援）被災者に対する生活支援活動」を実施しましたので、報告します。

NPO 法人日本子どもの虐待防止民間ネットワーク

#### 1 はじめに

東日本大震災では被災地域の様々なインフラが壊れてしまった。その中には当然子育てのために必要な家族・地域社会・保育所・幼稚園などを亡くした被災者は多い。復興に向けて土木工事は始まったが、子育ての復興には、安定した家庭や社会が必要である。そのためには、子育て中の不安や悩みをすぐに相談できる体制が必要である

日本子どもの虐待防止民間ネットワークは以前からナビダイヤル:0570-011-077 による「全国 子育て・虐待防止ホットライン」とメール相談を実施している。そこで、今回その電話番号やメールアドレスをカードやネットを使って広報することで、子育てや虐待に悩む母親や子供たちに電話相談やメール相談の利用を促し、子育て支援と虐待防止の活動を進めたい。

#### 2 事業の目的

全国子育て・虐待防止の広報事業を行い、もって東日本大震災の復興に寄与する。

#### 3 事業内容

- ・ 広報事業実行委員会の開催
- ・ 電話相談、メール相談広報カードの作成と配布
- ・ インターネット検索サイトを利用した広報活動

#### 4 実施団体

- (1) 日本子どもの虐待防止民間ネットワークは 38 の虐待防止民間団体が加盟している。
- (2) 日本子どもの虐待防止民間ネットワークの加盟団体である、二つの団体と協力・連携して実施した。
  - ・ 子どもの虐待防止ネットワークみやぎ
  - ・ 福島虐待問題研究会

#### 5 カードの作成

デザイナーに委託し、下記のカードを作成した。

- ・ キャプネット宮城：10 万枚  
メッセージ：ひとりでがんばらないで子育て・子育てのどんな話でも電話相談へ
- ・ 福島虐待問題研究会・エフパネットふくしま：5 万枚

メッセージ：一人で抱え込まないで・子育てが「つらい」と思ったらお電話してください。

- ・裏面共通：全国 子育て・虐待防止ホットライン ナビダイヤル：0570-011-077  
競輪補助事業の表示



## 6 配布先

福島：保育園（195 か所）・児童クラブ（324 か所）

宮城：保育所（314 か所）・小児科（232 か所）

岩手：保育所（442 か所）・小児科（119 か所）

福島・宮城については、各1万枚を被災地の仮設住宅などを中心として手渡しで配布した。





## 7 ネット広告と効果

10月からネット上での検索連動型広告を実施した。その結果は以下の通りであった。

サイト名	総検索回数	クリック数
ヤフー	659,663 回	4,249 回
グーグル	1,466,017 回	2,853 回
総合計	2,125,680 回	7,102 回

## 8 電話相談と効果

電話相談件数

年 月	総呼数	完了 呼数	接続 完了率	不完了 呼	話中遭遇呼	平均通話 時間	
2012年4月	233	121	51.90%	112	93	24分53.0秒	
2012年5月	331	88	26.60%	243	234	20分45.0秒	
2012年6月	417	96	23.00%	321	304	18分47.5秒	
2012年7月	237	96	40.50%	141	134	19分59.5秒	
2012年8月	232	80	34.50%	152	142	22分18.0秒	
2012年9月	397	106	26.70%	291	275	24分42.0秒	
2012年10月	318	108	34.00%	210	196	25分13.0秒	
2012年11月	273	141	51.60%	132	120	21分0.0秒	
2012年12月	206	97	47.10%	109	81	2	24分14.0秒
2013年1月	237	108	45.60%	129	114	1	21分15.5秒
2013年2月	256	101	39.50%	155	123	3	24分49.0秒

2013年3月	353	118	33.40%	235	193	1	24分20.5秒
合計	3490	1260	41.50%	2230	2009	18	23分25.5秒

※ 電話相談の利用者は名乗らないことが多いので、被災地からの相談件数は把握しにくい。

## 9 メール相談と効果

2012年4月	61件
5月	71件
6月	80件
7月	82件
8月	82件
9月	114件
10月	99件
11月	89件
12月	107件
1月	138件
2月	118件
3月	130件
合計	1,181件

※メール相談はネット広告の効果があり、相談件数が増加した。

## 10 まとめ

東日本大震災からすでに2年の月日が過ぎた。被災地を訪れると沿岸部以外はかなり復興している。しかし、津波被害の沿岸部と放射能被害の福島県沿岸部の復興ははかどっていない。当然、その地域に住んでいた方たちはいまだに仮設住宅やみなし仮設のアパートなど、不便な暮らしを強いられている。これらの地域での子育てには当然これまでにはないストレスが発生する。そのストレスを電話相談やメール相談で少しでも軽くしてほしいと願っている。

今回の競輪補助事業ではカード配布とネット広告を使って、電話相談やメール相談の利用を広報・啓発した。

今後も全国で電話相談メール相談を実施し、利用者のニーズに応じていきたい。

連絡先：日本子どもの虐待防止民間ネットワーク事務局

[warabe@jcapnet.jp](mailto:warabe@jcapnet.jp) TEL：052-232-2880 FAX:052-232-2882